

# 部分入れ歯一覧表



治療の違いを分かりやすく解説した動画がございます。  
スマートフォンなどでQRコードよりご覧ください。  
スマートフォンをお持ちでない方は**タブレット端末**を  
ご利用しておりますのでどうぞお声がけください。

# 天野歯科医院

★の数は比較の目安です。お口の状態によって変わる場合があります。

素材・名称	写真	ワンポイント	素材	① 違和感 (薄さ)	② 安定性	③ 熱伝導	長所	短所
チタン床義歯 300,000円		健康・軽量	義歯床にチタンを使用	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	○薄いため違和感が少ない ○硬いため、安定した噛み心地になる ○上あごをおおう場合、食べ物の熱が伝わる ○バネが目立たない ○割れにくく、変形しない ○軽い ○金属アレルギーにならない	
コバルトクロム床義歯 250,000円		がっちり	義歯床にコバルトクロムを使用	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	○薄いため違和感が少ない ○硬いため、安定した噛み心地になる ○上あごをおおう場合、食べ物の熱が伝わる ○バネが目立たない ○割れにくく、変形しない	×金属アレルギーになることがある
ノンクラスプ義歯 片側3歯まで70,000円 片側4歯～150,000円 両側250,000円		美しい	ナイロンを使用	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	○バネがないので入れ歯だと気づかれにくい ○違和感が少なく、装着感もよい ○チタン・コバルトクロムに比べ安価	×定期的に作り変える必要がある ×歯茎の形態により無理な場合がある ×維持力の調整がしにくい
ホワイトクラスプ義歯 15,000円 (1ヶ所につき)		なじむ	バネに白いプラスチックを使用	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	○バネが白いので入れ歯だと気づかれにくい ○金属アレルギーにならない	×金属のバネより強度が弱い太くなる ×維持力の調整がしにくい
インプラントアタッチメント 160,000円 (2ヶ所)		安全性	さまざまな種類がある。入れ歯の補助的な固定装置	(義歯によって異なります) 安定するのでよく噛める	義歯による	義歯による	○入れ歯が外れにくい ○しっかり噛める ○バネがなくなるので入れ歯だと気づかれにくい ○歯が無くて可能	×お口の状態によっては使用できない
磁性アタッチメント(維持装置) 60,000円～ (1ヶ所)	 (写真は総義歯用です)	安定性	さまざまな種類がある。入れ歯の補助的な固定装置	(義歯によって異なります) 安定するのでよく噛める	義歯による	義歯による	○入れ歯が外れにくい ○しっかり噛める ○バネがなくなるので入れ歯だと気づかれにくい	×お口の状態によっては使用できない ×比較的健康的な歯の根が1～数本残っていないとできない
プラスチック義歯 (保険適用)		保険適用	義歯床にプラスチックを使用	★	★	★ ★	○健康保険が適用できる ○調整が容易	×精度を高く作るのが難しく、安定して噛めない ×口の中の違和感が大きい ×バネが目立つ ×割れたり変形しやすく、耐久性が低い ×上あごをおおう場合、食べ物の熱が伝わらない

※消費税を別途申し受けます。

※ケースによって、適用にならない場合もあります。

# 入れ歯の床に使用する素材

## 🦷 金属床

入れ歯の床にコバルトクロムやチタンなどを使用したもの。精度が高く、厚みも薄く作ることができます。

## 🦷 プラスチック床

健康保険が利用できます。強度を保つため、厚く作る必要があります。変形しやすく、割れてしまうこともあります。

## 入れ歯を金属床で製作する際の注意事項

- ①入れ歯の製作にはある程度の期間がかかります。
- ②金属床入れ歯には健康保険が利用できません
- ③金属床入れ歯は医療費控除の対象になります

治療にかかる費用など  
詳しい治療内容につきましては  
いつでも医師・スタッフに  
お気軽に声をおかけください

※入れ歯を作られる方はぜひお読み下さい

# 入れ歯の違い

## 素材による違い ご存知ですか？



金属床とプラスチック床の違い

# 金属床の入れ歯 プラスチック床との3つの違い

## 違い ① 金属床なら薄くて丈夫!! 違和感が少ない



プラスチック床の入れ歯は、強度を保つため、厚く製作する必要があります。これが大きな違和感の原因に。

金属床なら薄くて丈夫な入れ歯が作れるので、違和感も最小限にすることが可能です。

薄くて丈夫な金属床。違和感も最小限

金属床



プラスチック床



金属床はプラスチック床より違和感が少なくなります

## 違い ② カチッとした噛み心地 しっかり噛める!

プラスチック床は強く噛むとたわんでしまいます。さらに長期間の使用により少しずつ変形し、徐々に噛めなくなってきました。

金属床なら、たわみや変形も少ないので、しっかりと安定した噛み心地になります。



プラスチック床の変形



プラスチックは変形したり、たわみやすいためしっかり噛めないばかりか痛みがでることも…

## 違い ③ 食べ物の熱さ・冷たさをしっかり感じる 熱が伝わる

上あごをおおう入れ歯の場合、プラスチック床では温かいものや冷たいものを食べても熱を感じにくくなります。

たとえば、温かいお茶を飲んでも、上あごはその温かさをあまり感じる事ができません。

その点、金属床は熱の伝導にも優れているので、食べ物の温かさや冷たさをしっかり感じる事ができます。

金属床なら食事おいしい

プラスチック床



温度が伝わりにくく食事に不満も…

金属床



温かさ・冷たさがしっかり分かる